


群落名	1. シイ群落	
相観	コジイを主とするシイ類が優占する常緑広葉高木林	
分布	調査範囲の北部や西部に小面積分布	
概要	高木層にはシイが生育し、林床は暗く、草本層の植率は低い。	
群落名	2. アラカシ群落	
相観	アラカシが優占する常緑広葉高木林	
分布	調査範囲の北部を中心に小面積分布	
概要	高木層にはアラカシが優占して生育。	
群落名	3. クスノキ群落	
相観	クスノキが優占する常緑広葉高木林	
分布	調査範囲の東部に小面積分布	
概要	高木層にはクスノキが優占し、その他エノキ等が生育している。クスノキが優占する群落は少ない。ただし、調査範囲にはクスノキが多く生育する。クスノキは本地域には自生しないため植栽由来のものが鳥散布などで広がったと考えられる。	
群落名	4. クスノキ-竹群落	
相観	クスノキ群落に竹が侵入している混交高木林	
分布	南坑口の東側の山地の斜面上部から下部を中心に分布	
概要	高木層はクスノキと竹が混交した群落。もともとはクスノキ群落であったところに周囲から竹が侵入したものと考えられる。	
群落名	5. コナラ群落	
相観	コナラが優占する落葉広葉高木林	
分布	調査範囲の西部から南部を中心に分布 池の周囲に多い	
概要	高木層にはコナラが生育し、萌芽したのも見られたのでかつては薪炭林として施業していたと考えられる。低木層には個体数は多くないがコバノミツバツツジなどのツツジ類も生育していた。	
群落名	6. エノキ群落	
相観	エノキが優占する落葉広葉高木林	
分布	調査範囲の東部に小面積分布	
概要	高木層にはエノキが優占して生育	

群落名	7. アカマツ枯れ跡群落	
相観	ソヨゴ、ネジキなどの低木が優占する低木林	
分布	調査範囲の中央部の尾根に小面積分布	
概要	アカマツ群落のアカマツが枯れ、ソヨゴ、ネジキなどの低木が生育する。	
群落名	8. 先駆性植物群落	
相観	ヌルデ、セイタカアワダチソウなどが優占する落葉低木群落	
分布	谷部の水田放棄地と考えられる立地に小面積分布	
概要	低木層にはヌルデ、アカメガシワが生育し、草本層には、セイタカアワダチソウ、ネザサなどが生育していた。	
群落名	9. ヒノキ植林	
相観	ヒノキの植林	
分布	調査範囲の中央部、東部に分布	
概要	高木層にはヒノキが生育し、低木層、草本層の植被率は少なかった。コ克蘭はヒノキ林林床で見られた。	
群落名	10. 竹林	
相観	モウソウチクを主とする竹林	
分布	調査範囲の広い範囲に分布	
概要	高木層にはモウソウチクが生育し、手入れがなされていない林分が多く、林内は暗い。そのため、草本層の植被率は少なかった。	
群落名	11. ノイバラ群落	
相観	ノイバラが優占する落葉低木林	
分布	調査範囲の東部の谷部に小面積分布	
概要	低木層にはノイバラ、ヤブガラシなどが生育し、草本層にはセイタカアワダチソウ、ススキなどが生育していた。	

群落名	12. ネザサ群落	
相観	ネザサが優占する草本群落	
分布	調査範囲の谷部、斜面下部に小面積分布	
概要	草本層にはネザサが優占し、その他の生育種は少なく、セイタカアワダチソウやクズなどが生育していた。	
群落名	13. クズ群落	
相観	クズが優占する落葉低木林	
分布	調査範囲の法面下部や耕作放棄地に分布	
概要	草本層の最上層にクズが優占し、その下にネザサが生育していることが多い。	
群落名	14. ススキ群落	
相観	ススキが優占する草本群落	
分布	調査範囲の東部の斜面に小面積分布	
概要	草本層にススキが優占し、その他ヨモギ、セイタカアワダチソウが生育していた。	
群落名	15. アマチャヅル群落	
相観	アマチャヅルが優占する草本群落	
分布	調査範囲の東部の谷部に小面積分布	
概要	草本層にはアマチャヅルが優占し、その他セイタカアワダチソウ、ススキなどが生育していた。	
群落名	16. ヨモギ群落	
相観	ヨモギが優占する草本群落	
分布	調査範囲の北部の耕作跡地に小面積分布	
概要	草本層にはヨモギが優占し、その他オオバコなどが生育していた。	

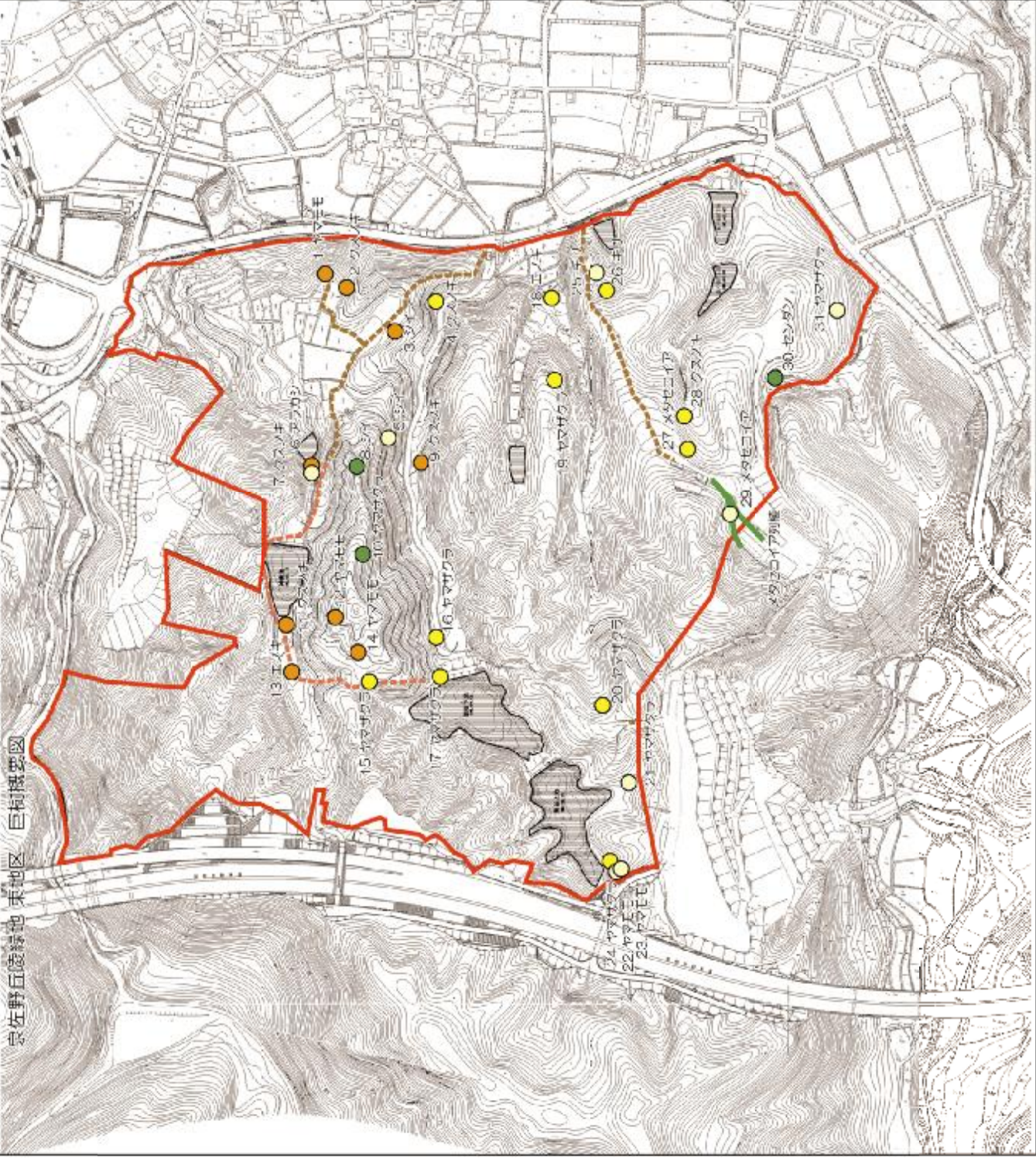


図 巨樹位置図

巨木調査結果および保存木候補一覧表

番号	種名	樹高 (m)	胸高直径(cm)											幹周 (cm)	備考	活力度
			36	36	36	34	60									
1	ヤマモモ	16	36	36	36	34	60							444	5本立ち ウロ有、先折れ	△
2	クスノキ	17	25	25	35	35	35	35	40					506	7本立ち	○
3	シイ	18	144	185										723	2本立ち	○
4	クスノキ	20	90											283		○
5	シイ	18	60											188		○
6	アラカシ	16	25	28	30	32	32						323	5本立ち	○	
7	クスノキ	18	60											188		○
8	シイ	13	45											141		○
9	クスノキ	19	12	15	15	15	17	28	28	28	30	35		490	10本立ち	○
10	ヤマザクラ	12	47											148		○
11	クスノキ	18	100											314		○
12	ヤマモモ	14	20	20	20	23	23	27	35					369	7本立ち	○
13	エノキ	17	24	24	31	40	40							349	5本立ち	○
14	ヤマモモ	15	35	35	37	38								319	4本立ち 株立ち、形◎	○
15	ヤマザクラ	16	85											267		○
16	ヤマザクラ	13	60	68										281	2本立ち	○
17	ヤマザクラ	12	63	68										288	2本立ち	○
18	エノキ	14	45	60										231	2本立ち	○
19	ヤマザクラ	15	45	65										242	2本立ち	○
20	ヤマザクラ	15	80											251		○
21	ヤマザクラ	13	50											157		○
22	ヤマモモ	15	60											188	周辺に3本生育	○
23	ヤマモモ	15	60											188	斜面下	○
24	ヤマザクラ	14	70											220	一部先枯れ	△
25	キリ	20	48											151		○
26	キリ	21	85											267		○
27	メタセコイア	18	65											204		○
28	クスノキ	18	75											236		○
29	メタセコイア	19	55											173	元No.32	○
30	センダン	18	46											144		○
31	ヤマザクラ	16	50											157	元No.35	○






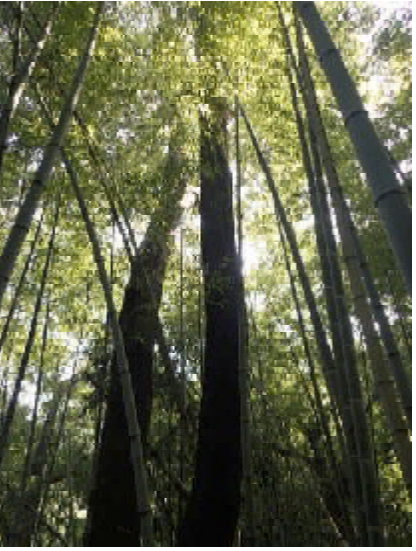
※2本立ち以上は、各幹周の合計×70%としている







注)表内の着色は右表による

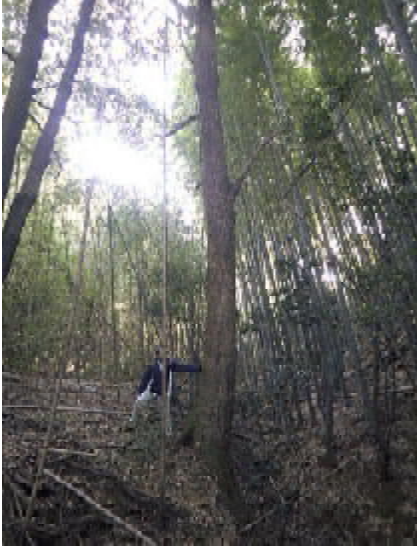



直径	48.0以上	63.5以上	95.5以上
幹周	150以上	200以上	300以上

(参考)環境庁では、300cm以上を巨木としている

□は、当公園内東地区における巨木保存候補

位置 番号	種名	写真	
1	ヤマモモ		
2	クスノキ		
3	シイ		

位置 番号	種名	写真	
4	クスノキ		
5	シイ		
6	アラカシ		

位置 番号	種名	写真	
7	クスノキ		
8	シイ		
9	クスノキ	